

議事(1)

# 前回委員会での主な指摘事項と対応方針について

---

平成29年12月26日(火)

政策統括官付

# 平成29年度 第1回委員会での主な指摘事項と対応方針

## 1. 持続可能なデータ整備・更新手法の検討について

No.	項目	指摘事項(概要)	対応方針	該当箇所
1	持続可能性の定義	持続可能性を、高頻度・高精度・高信頼性・低コスト・低労力の5つの視点で定義しているが、全ての視点を網羅することは難しいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各手法について5視点で、現状、課題、対応策を整理した。</li> <li>調査結果や委員会での議論等を踏まえ、課題や対応策を検討する。</li> </ul>	・資料3-1
2	収集方法の実現可能性	情報収集手段として、GPSデータが挙げられているが、GPS以外にWi-Fiの親機で位置情報を収集することも考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS以外の測位手法等についても検討した。</li> <li>ロードマップでは、準天頂衛星活用による測位精度向上も踏まえて整理した。</li> </ul>	・資料3-1 P.15・22
3	個人情報保護	データ収集方法によっては個人情報保護の問題もあるため、留意が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プローブ情報は個人情報に該当するため、通れたマップ実証実験において、個人情報保護の観点から対応を実施。</li> </ul>	・資料3-3
4	ヒアリング先	住民投稿情報について、歩行者移動支援以外の分野における先行事例にもヒアリングを実施するとよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒアリングではバリアフリー情報以外にもユーザー投稿情報を収集しサービス展開している民間事業者等にもヒアリング調査を実施した。</li> </ul>	・資料3-1 P.15

## 2. その他

No.	項目	指摘事項(概要)	対応方針	該当箇所
5	データサイトへのアクセス	データサイトのデータ利用状況を教えて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイトに掲載しているデータの利用状況(ダウンロード数)を整理した。</li> </ul>	・資料1-2 P.3
6	データサイト名称	プロジェクト名称決定後にデータサイトの名称も変更してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイトにも「バリアフリーナビプロジェクト」の名称を表記した。</li> </ul>	・資料1-2 P.2